

☆第2土曜日・観察会

今年の梅雨入り宣言は早かったのですが、そのあとなかなか雨が降らず、8日の活動日も天候



森の室内楽コンサート

に恵まれた一日となりました。

6月の観察会、まずは鼻をつかってニオイあてゲームから。8つのカップに、4つの植物が2セットずつ入っているの、同じニオイ同士をあててもらいました。みなさん「ニオイに鈍感でわからんわ〜」とおっしゃっていましたが、全員正解でした。

ニオイをあててもらった植物は、ヨモギ・ドクダミ・クスノキ・ハイヌガヤの4種類。みなさんすぐにわかったのは、ドクダミでした。ドクダミは別名「十薬」といいます。腫れ物・虫さされ・湿疹・利尿・消炎・整腸・高血圧などに効くらしいと紹介すると、「あとの3つは何や?」と言われ、あとの効果は勉強不足だったのでここで補足させていただきます。上にあげたもの以外には、アレルギー性鼻炎・婦人病・二日酔い・水虫・解毒・痔…などなど他にも多くの薬効があるそうです。薬効は花が咲く今の時期が一番強いので、お茶用に乾燥させるなら花付きのものがいいそうです。

クスノキの葉っぱからとられる樟脳は昔から虫除けに使われてきました。インドでは洗面所や排水穴の網の上に樟脳をおき、そのニオイで下水からゴキブリが上がってくるのを防いでいるそうですよ。

観察会のメインの話題にオニノヤガラを用意していたのですが、ニオイに関する話が長くなってしまい、オニノヤガラの生態の話と、観察だけになってしまいました。オニノヤガラは、全身オレンジ色です。出たての頃はアスパラガスのような形ですが、一週間もしたら1mほどの大きさに生長します。一般的な植物には

葉っぱがあり、その葉っぱが光合成をしてエネルギーを作りますが、葉っぱがなく、光合成をしないオニノヤガラは、ナラタケ菌の菌糸から栄養をもらって生



テングス病にやられた竹

活します。菌糸からもらった栄養を根っこにため、次々に栄養をもらってジャガイモのような大きな根っこにしていきます。今年はオニノヤガラがたくさん生えていたので、1本くらい根っこを掘り出してみよう！と考えていたのですが、時間がなかったので観察会では見られませんでした。作業の時間早く終わった班と一緒に掘りに行き、お昼の時間にみなさんに見せることができました。ジャガイモと言うより、ショウガのような形でした！

☆第2土曜日・作業内容

さて、第2土曜日ですが、本日の作業メニューは4つ。まずは竹林でのテングス病退治です。この通信では再三テングス病という言葉が出てきますが、なにそれ？という人が多いと思いますので、ちょっとここで整理してみます。

テングス病はカビの一種によって起こる伝染病で、桜や竹での病気が有名です。この病気にかかると、竹の枝先に不自然な枝の塊ができて、ササの葉が無くなります。今の梅雨時期は黒い胞子がついているので、全体的に黒く見えます。この病気にかかると、葉がなくなる→竹が弱る→最後には枯れてしまうとのこと。この病気にかかる原因は竹が密生していること、それによって風通しが悪くなることとされています。

竹材生産やタケノコ生産が少なくなり、竹林が適正に管理されないという社会情勢の変化が大きな要因です。どこかで聞いたような話ですが、里山が荒れた原因とまったく同じ要因です。対処法としては、病気にやられた竹を伐

7月の作業日は

7月13日(第2土曜日)、24日(第4水曜日) 9時～(遅刻可)
遊林会の作業会議「森の居酒屋」は **7月10日(水) 午後5時30分頃** *時間を変更しています

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先(遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210
URL: <http://www.yurinkai.org/> E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp 森のブログは「かわべえブログ」で検索!

り、焼却処分することとあります。この森でも数年前にテングス病がはやったのですが、伐採で病気が下火になった経験があります。よって今回も伐採、焼却という方法をとりました。伐っていると上から黒い胞子が振ってきて、作業の面々の背中黒っぽくなってしまふほどでした。その他、大人の背よりも大きなカマを持ち、細竹を刈って歩く班、草原班はロープで区切られたエリア内での作業です。今回はオカトラノオを守るため、手刈りでクズやセイタカなどを刈りました。

昼食はやはりタケノコがメイン、優しい味の炊き込みご飯に筑前煮、夏先取りの冷しゃぶなどなどでした。午後からはみんなで水辺の藻取りで一日が終わりました。

☆第4水曜日の作業

強い雨が降り続いたこの日は、テント下での作業となりました。4月の第4水曜日の「丸太イスの棚づくり」（1台目）に引き続き、今回は「竹切り台の棚づくり」（2台目）です。竹切り台は丸太に切り込みが入っており、子どもが竹を切る時に使用しているものです。この強い雨の中集まったメンバーはベテラン揃いで、4月の作業の記憶をたぐりつつ、「1台目よりもさらに格好良いものを作らなあかんっ!」と、皆さんやる気満々です。棚に適した竹を選び、長さの調整を行い、棚の一番下の部分を組み立てるとあっという間にお昼ごはんです。

昼食のメニューは、野菜たっぷりの卵スープ、揚げナスのごまみそあえ、豚肉とキュウリ&ズッキーニの炒めもの、タマネギと鶏肉の甘酢あんかけなど、全8種の夏野菜満点のお昼ごはんになりました。おかげさまで、元気モリモリ! ほぼ完食です。

午後からも棚づくりを続行です。残すところは組み立てるのみのなのですが、1代目よりも2代目をより良い物にするために、アイデアを出してその場で即実行です。いろんな道具と皆さんの知恵をフルに活用して、とても頑丈な2代目の棚が完成しました! 設置をしてみると、今まで竹切り台を置いていたスペースが空いたので、足場がスツキリときれいになりました。

☆6月の木ままクラブ

木曜日に気ままに集まって活動する木ままクラブ、6月13日に10人で活動を行いました。

午前中は正面入口付近のリニューアル作業です。ボロボロの竹柵を撤去し、ササを刈り、かなりスツキリしました。新しい柵については、良い竹を使いたいので冬に作業予定です。午後からはドングリ広場の草刈りを行いました。カラリと晴れた暑い日で、作業後はみな

さん汗だく! 本当にお疲れ様でした。

7月は18日が活動日です

☆森のスタッフルーム情報

5月に続いて、6月も小学4年生のやまのこ学習やモリイコ! など子どもたちの対応に加え、夏休みのイベント準備など、慌ただしくもにぎやかな毎日でした。

22日に行われた森の室内楽コンサートは、おなじみの日本センチュリー交響楽団さん。スタッフのリクエストに答えていただき、演奏者さんが聞いたことのない曲(J ポップなど)は、わざわざ調べて演奏していただきました。メインはドボルザークのアメリカ。座っている席から窓越しに見える夕暮れ時の森をバックに、素敵な演奏、そして心落ち着く時間を演出していただきました。センチュリーの皆様、森に来てくださった方、ありがとうございました。また冬のクリスマスコンサートをお楽しみに!

☆モリイコ! の子どもたち

モリイコ! とモリイコ! Sの第二回目はいきものづくりのプログラムです。

モリイコ! では午前中に色ないきものの正しいさわり方とつかみ方を覚え、午後から思いっきりいきものつかみを楽しみます。目標はみんなで20種類のいきものを捕まえることでしたが、どの隊も楽々クリアで、中にはスタッフも初めて見るようなものも見つかり、みんなで楽しむことができました。

モリイコ! Sは、自分でつかんだいきものを自分で調べるプログラムです。調べるときは図鑑だけでなく、色んな道具を使って色んな発見をします。拡大して見たり、歩く速さを調べたり、温度を測ったりと、小さな森の研究者たちがたくさん誕生していました。この日はおやつにも一工夫。ウインナーをどうすればおいしく食べられるか? という所から始め、火おこしとその分担、作業全てを子どもだけでやってみました。時間内に終わるのかヒヤヒヤしながらも、なんとかこんがり美味しいウインナーを食べることができました。

☆7月の作業は...

7月の活動日で、遊林会の活動が15周年を迎えます。作業は炭出し・炭つめ、草刈りなど暑い作業が中心になりそうですが、活動はお昼まで。お昼は焼き焼きパーティーを行い、午後は遊林会の活動を写真などで振り返ることができたらと考えています。みなさんふるってご参加ください♪